



神功小だより

令和2年度 第1号
令和2年4月6日発行
文責 福西正剛

新年度がスタートしました。

校庭の桜の花が誇らしげに咲き、近隣の公園では鶯がさえざり始める季節となりました。

そして、子どもたちにとっては、ほぼ一か月に及ぶ臨時休業と春休みを経て、いよいよ新年度がスタートしました。今日は、始業式は行わないものの登校日として、新担任からの一言、教科書をはじめ、書類の配付などを行いました。とはいえ、新型コロナウイルス感染症への対応のため、臨時休業が4月17日まで延長されることになりました。

私たち教職員一同、一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、子どもたちが学校で友達とかわりながら、元気に遊び、たくさんのことを学んでくれる日を待ち望んでいます。

保護者の皆様には、臨時休業についてご理解を賜りますとともに、引き続き家庭においては新型コロナウイルス感染防止に努めていただきますようお願いいたします。

教職員の異動と今年度のスタッフの紹介

新年度を迎えるにあたり、3月末をもって本校から転出された方、また、新しく転入したスタッフを紹介いたします。

令和2年度は、4月より転入してくれた3名、4月8日の入学式で新入生33名を迎え、児童数222名と教職員20名で新たなスタートを切ります。教職員一同、子どもたちの学びをしっかりと支えていきますので、保護者の皆様には、引き続きご支援いただきますようお願いいたします。

【令和2年度神功小学校の職員】

令和2年度の職員			
校長	福西正剛	ひまわり	平岡圭子
教頭	長浜卓摩	ひまわり	藤上ひとみ
1の1	木下須美子	ひまわり	三原美佳 (旧姓:矢追)
2の1	伊藤剛士	ひまわり	前谷将司
3の1	松田昌利子	少人数	藤宗 慶
4の1	川口千香	音楽・家庭	向田早苗
4の2	山本由緯	養護	岩松公美
5の1	今岡真紀	栄養	其山勢津子
5の2	菅原恵太	事務	小西恵津子
6の1	小川三奈子	業務	岡田佳洋

【令和元年度末人事異動】

転出者	
中島恭子	奈良市立椿井小学校へ
藤田恵梨奈	奈良市立三碓小学校へ
安慶名有紀	大阪市立小学校へ
河合志津子	奈良市立富雄中学校へ
中西壽女	退職
転入者	
今岡真紀	奈良市教育委員会より
前谷将司	奈良市立大宮小学校より
岡田佳洋	奈良市立鼓阪北小学校より
福西正剛	奈良市教育委員会より

生徒指導・いじめ対応教員：藤宗 慶

教育相談コーディネーター：岩松公美

特別支援教育コーディネーター：藤上ひとみ・三原美佳

【お願い】

本日、教科書をはじめたくさんの書類をお渡しています。提出や返却いただく書類には必要事項を記載の上、臨時休業終了後の4月20日（予定）に提出いただきますようお願いいたします。

なお、健康チェックカードについては、臨時休業中も健康管理のために毎日検温を行い、記録していただき、4月20日に持たせてください。

【お知らせとお願い】臨時休業中のお子様の預かりについて

臨時休業にかかわり、保護者の就労などの状況により、お子様を家庭において生活させることができない場合に限り、4月9日以降の臨時休業中（土日祝を除く）において、8時30分～14時まで学校でお預かりします。

ただし、今回の臨時休業は、本市が「感染拡大警戒区域」とされるとされる大阪府の通勤圏内にあることなど、「感染リスクを排除できない」との判断のもと行うものであるため、感染リスクを極力避ける目的を踏まえ、可能な限り家庭において生活させていただきますようお願いいたします。

なお、お預かりする場合は次のようにさせていただきます。

- ① 改めて申し込みしていただくため、直接来校いただきますようお願いいたします。
- ② 受付時間は4月7日（火）8時30分～17時、4月8日（水）13時～14時30分とさせていただきます。
※新1年生については、入学式後に受付します。
- ③ 発熱等の風邪の症状がみられる場合はお預かりできません。
- ④ お預かり中に発熱や体調不良があった場合は速やかにお迎えに来ていただきます。
- ⑤ 速やかにお迎えいただくために、できるだけ複数の連絡先（保護者、職場など）を報告してください。

ピンチをチャンスに！

《行動変容》

新型コロナウイルスの影響により、私たちの生活は大きく変化しています。これほど日本社会は物が豊かたされてきたにもかかわらず、マスクが不足したり、一時はトイレットペーパーが店頭にならなくなったりする状況もありました。予想することが難しい社会、これまでの経験が通用しない社会、まさにこれからの社会を象徴しているかのように思います。

《子どもたちの活躍》

昨年3月2日からの臨時休業中、子どもたちは、多くの時間を家庭で過ごし、不要不急の外出を控えるなど生活が規制されてきました。しかし、そのような中でも、様々なところで、知恵を出し合いながら、工夫してこの局面を乗り越えようとしている子どもの姿がありました。

例えば、甲府市の中学生がお年玉を使って、自分で作ったマスクを山梨県に寄付するというニュースがありました。また、奈良県内の公立高校生が、自分たちで開発した「すき焼きのレトルト」を市内の「子ども食堂」で無料配布したというニュースもありました。

このような発想は、「ピンチをチャンス」に変えようとする発想であり、自分だけでなく、自分の周りの人の幸福のために何ができるのかを主体的に考え行動したものだと思います。

《今だからできること》

臨時休業中、私たち大人も含めて、子どもたちは自分の生活に多くの制約を受ける状況ではありますが、ピンチをチャンスと捉える機会です。行動範囲は制限されても、新しい発見や柔軟な発想で、ものの見方や考え方を豊かにしてほしいと思っています。

ぜひ、家庭においては、お子様に対して、「○○しなさい。」「○○すべきだ。」だけでなく、「○○についてどう思う？」「どうしたらいいと思う？」などの問いかけをしていただき、子どもたちが主体的に何かに向かい合う機会としていただきたいと思います。

併せて、新型コロナウイルス感染症には十分注意いただきながら、機会を見つけて、戸外で太陽を浴びたり、身体を動かしたりする機会も持っていただきたいと思います。

一年間、どうぞよろしく願いいたします。